

令和 7 年度第 2 回運営推進会議会議録

グループホームたかしずの森

開催日：令和 7 年 6 月 18 日（水）

時 刻：14:00～15:00

場 所：新館 2 階談話室

◎出席者 11 名

（事務局）	施設長 介護主任
（施設から）	看護師
（利用者代表）	本館代表：T 新館代表：O
（利用者家族代表）	本館代表：Y 新館代表：I
（地域住民代表）	高清水町内会長 S 民生委員 E
（十和田市東地域包括支援センター）	O
（知見を有するもの）	グループホーム八甲荘 東一番 N

◎議事録

施設長：まずは今日初めての方がいらっしゃるのので 1 人ずつ挨拶をお願いします。

今回から知見を有する方とのことで八甲荘のグループホームより参加してもらうことになりました。今後お互いに運営推進会議に参加していく予定ですのでよろしくをお願いします。

1 名ずつ自己紹介をおこなう

介護主任：資料に沿って「グループホームのサービス提供の状況について」説明する。

年齢別入居者状況の説明をおこなう。 補足として最年少 82 歳 最高齢 96 歳
入退所も 4 月からはありません。

外泊状況ですが 2 名外泊がありました。1 名は遠方にご家族が住んでいて帰省して一緒に過ごしたいという方、もう 1 名は法事のための外泊がありました。
通院状況ですが、今月は体調を崩す方が多く、現時点で内科への通院が 11 回と多いです。症状としまして、痰がらみの咳症状、発熱がありました。

入院状況ですが、資料は昨日の時点での資料で入院 2 名になっておりますが、昨日 1 名退院されてきているので、現時点では 1 名第一病院へ肺炎のため入院となっております。

職員状況も 4 月から変わらないです。

S：本館、新館の管理者はどのようになっているのですか？

施設長：会長がまだ新館の管理者として在籍しております。自分は本館の管理者兼施設

長という肩書になっております。

介護主任：行事实施記録の説明をおこなう

介護主任：「令和7年度介護人材確保・職場環境改善事業計画書について」説明する。

介護事業所の業務効率化・職場環境改善を支援し、人材の確保と定着を目的とした補助金の申請をおこないました。当施設では資料にある通り 565,241 円の補助金が見込まれています。

S：これは年間の補助金ですか？月額ですか？

介護主任：年1回の補助額となっております

施設長：今日はちょうど看護師が出勤しておりましたので看護師からバイタルサインの重要性を説明してもらおうと思います

看護師：高齢者のバイタルサインの重要性について資料に沿って説明をおこなう

補足として高齢者の酸素濃度が低めなのは胸郭筋の動きが弱まるからである。

そのため90%前半であれば心配することはない

施設長：これを踏まえ、普段利用者の酸素濃度を測り、平均値を知っておいたほうがいいのではないかと介護主任と話しをしていたところだ。八甲荘さんはどうですか？

N：八甲荘でも特変なければ酸素濃度は特別測っていない

看護師：病院でも、普段は酸素濃度は毎回は測らず、特変があったときにはかっている

施設長、介護主任：酸素濃度測定については職員とも話あって決めたいと思います

S：普段からデータを測っておくことは大切なことだと思います

O：自分もデイサービス等を勤務してきたが、毎回酸素値が80%台の方がいらっしゃったが本人は苦しくないと言っていた。個人差があるので、やはりその人の平均を知っておくことは大切だと思います。

施設長：その他包括支援センターから何かありませんか？

O：包括支援センターは別名安心相談所として、65歳以上の高齢者の困りごとを相談できる場となっている。最近は、介護保険のことはもちろん成年後見人や虐待の相談等も受けている。

さらにサロン活動等も行っています。

施設長：その他特にご質問ないようですので、これで会議を終了します。

次回開催は令和7年8月21日(木)14時となっておりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上